

MerakiダッシュボードでCSSM制御サブスクリプションを申請するには、どうすればよいですか？

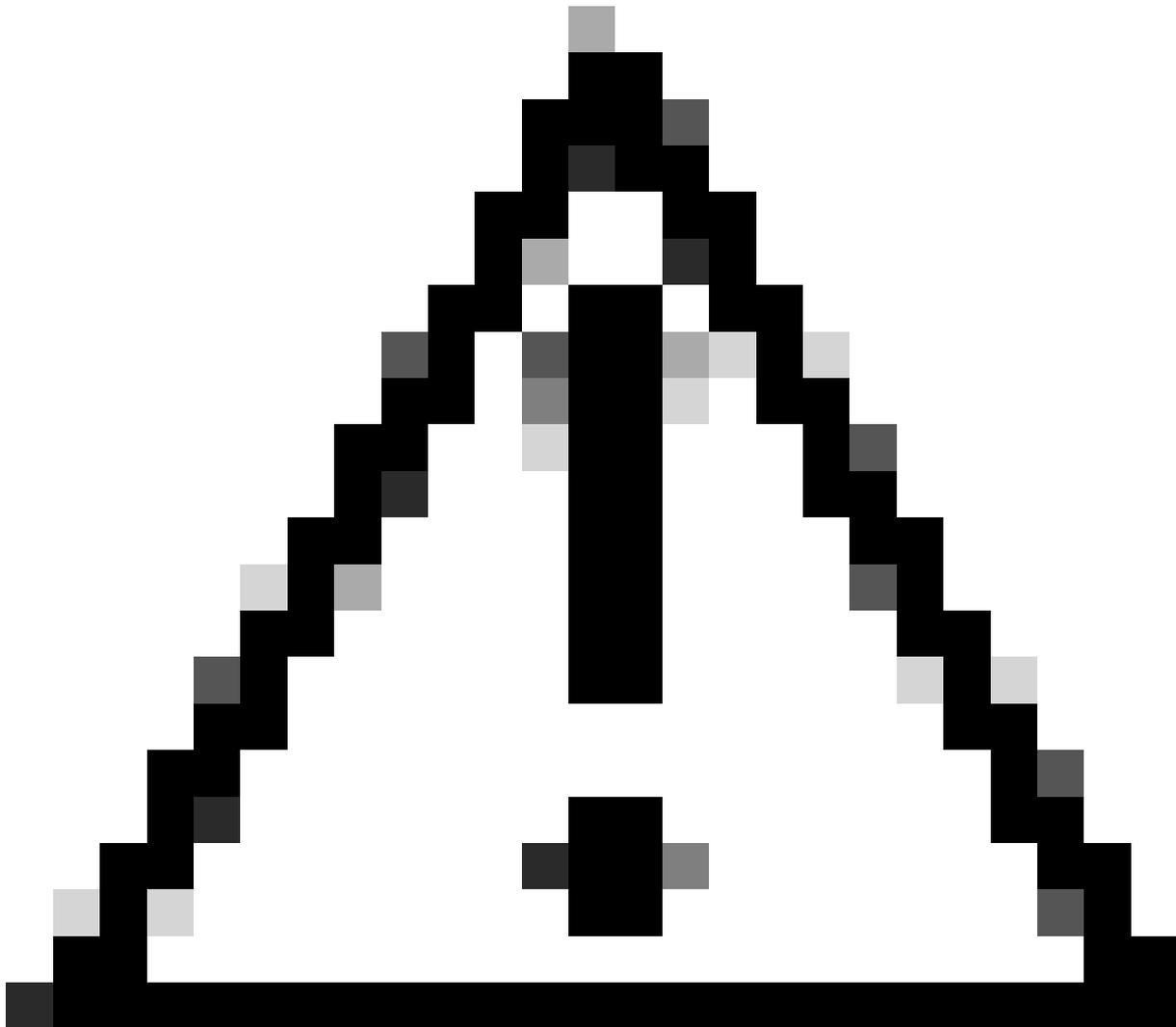
内容

外部のお客様/パートナー様専用：これらの手順は、お客様/パートナー様が問題を解決するために次のアクションを実施する際に役立ちます。この手順に従ってお客様またはパートナーに問題が発生した場合は、Merakiサポート(<https://meraki.cisco.com/meraki-support/open-a-support-case/>)にサービスリクエストをオープンしてもらってください。

前提条件

開始する前に、次のデータがあることを確認してください。

- カスタマースマートアカウント名とドメイン。
- スマートアカウントへのアクセス



注意:CSSMからMerakiに移行する場合、Merakiが制御を取得するには、CSSMから予約を削除する必要があります。

手順

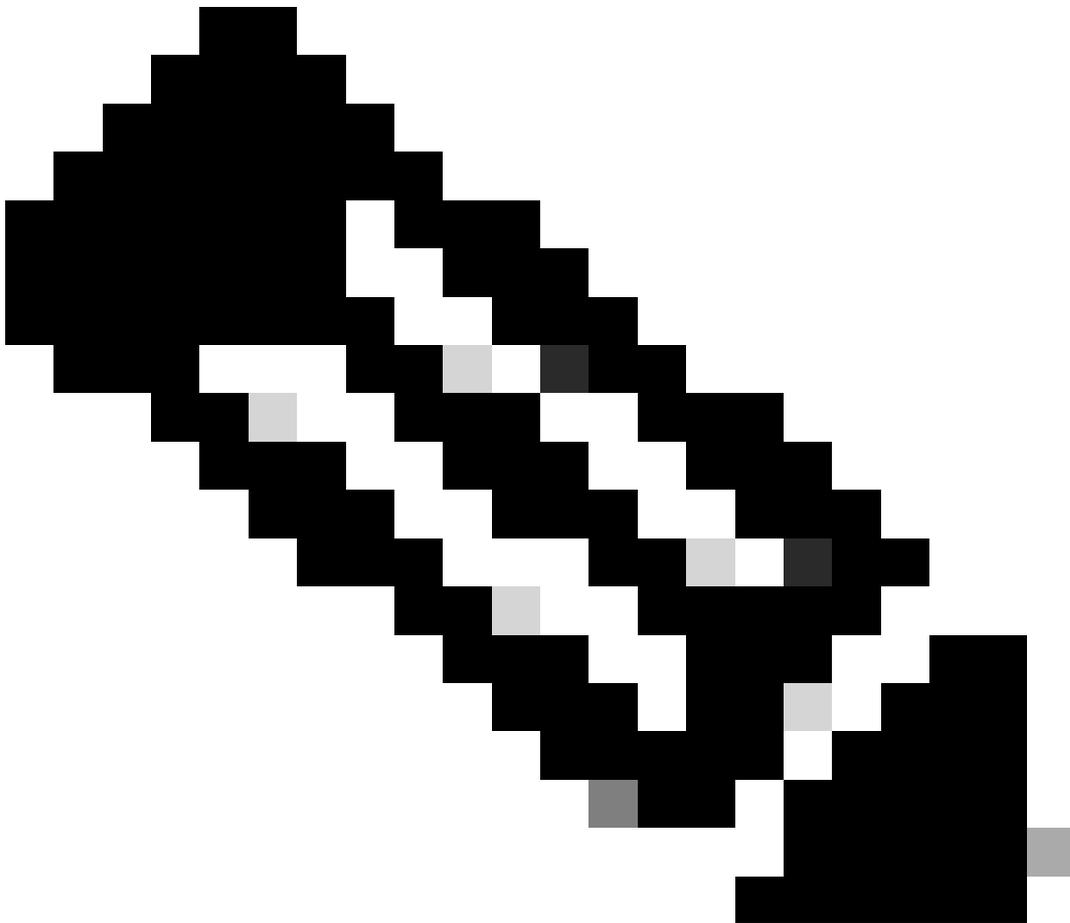
ステップ1：ユーザに請求メールが送信されます。

ステップ2：請求のリンクをクリックしてMerakiダッシュボードに進み、Merakiでサブスクリプションを請求できます。

ステップ3:Merakiでのスマートアカウントの割り当てにより、サブスクリプションがスマートアカウントの割り当てシナリオにバインドされます。

1. サブスクリプションがスマートアカウントに割り当てられていないため、CSSMへの影響はありません。
1. Merakiでスマートアカウントが割り当てられている場合：

- Merakiは、ユーザバインディングサブスクリプションのCCO IDをネットワークに渡す必要があります。
 - CSSMは、ユーザがアクセスできるスマートアカウントを特定します。
 - ユーザはMerakiのAPIから返されたリストからスマートアカウントを選択します。Merakiには仮想アカウントの割り当てが必要です。
 - Merakiは割り当てられたスマートアカウントIDを使用してCSSMに電話をかけます。
 - CSSMは、割り当てられたスマートアカウントの仮想アカウントを渡す必要があります。
 - Merakiでこの仮想アカウントを割り当てるユーザ。
-



注:CSSM APIは、仮想アカウントのリストにOnPremまたはDirectが含まれているかどうかを返します。その後、ユーザはこのリストからOnPremとDirect Virtual Accountを選択できます。

- MerakiはスマートアカウントIDと仮想アカウントIDを保存します。
- CSSMはサブスクリプションIDを保存します。
- ネットワーキングクラウドの仮想アカウントを作成します。

トラブルシューティング

このプロセスで対処できない問題が発生した場合は、Merakiサポート (<https://meraki.cisco.com/meraki-support/open-a-support-case/>)でケースをオープンしてください

このドキュメントの内容に関するご意見は、[ここ](#)から送信してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。